



04 城東区医療機関数は275施設・がん検診 検診別受検者の推移

●城東区の医療機関数は275施設

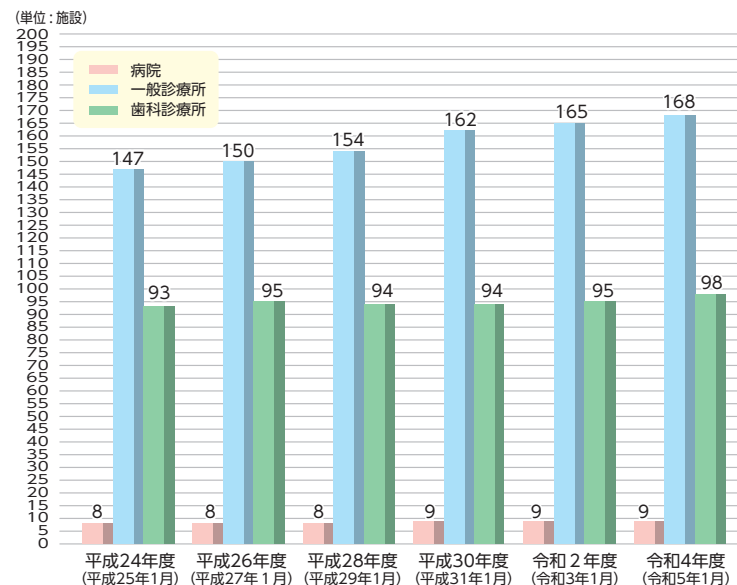
この10年間で、病院の数が1増、一般診療所が21増、歯科診療所が5増となっています。

がん検診 検診別受検者の推移

令和元年度及び令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、受検者数が大幅に減少しました。

増減率で見ると、胃がん検診（19.0%減）、大腸がん検診（10.0%減）、肺がん検診（9.3%減）、乳がん（マンモグラフィ）検診（22.5%減）と令和元年度から更に落ち込んだ状況となりました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチンの実施、マスクの着用や手洗い、こまめな換気など、基本的な感染防止対策の徹底など、市民一人一人が感染リスクを避ける行動を取るようになったこともあり、胃がん検診（0.2%増）、大腸がん検診（2.1%増）、肺がん検診（4.5%増）、子宮頸がん検診（6.8%増）、乳がん（マンモグラフィ）検診（19.5%増）と令和2年度受検者数からやや回復傾向の兆しが見え始めています。また、がん検診の受診率を24区で見ると、城東区は、胃がん検診、大腸がん検診がそれぞれ3番目、肺がん検診・子宮頸がん検診については5番目となっており、受診率は高い傾向にあります。



出典：令和5年「大阪市健康局資料」より

●城東区検診別受検者数

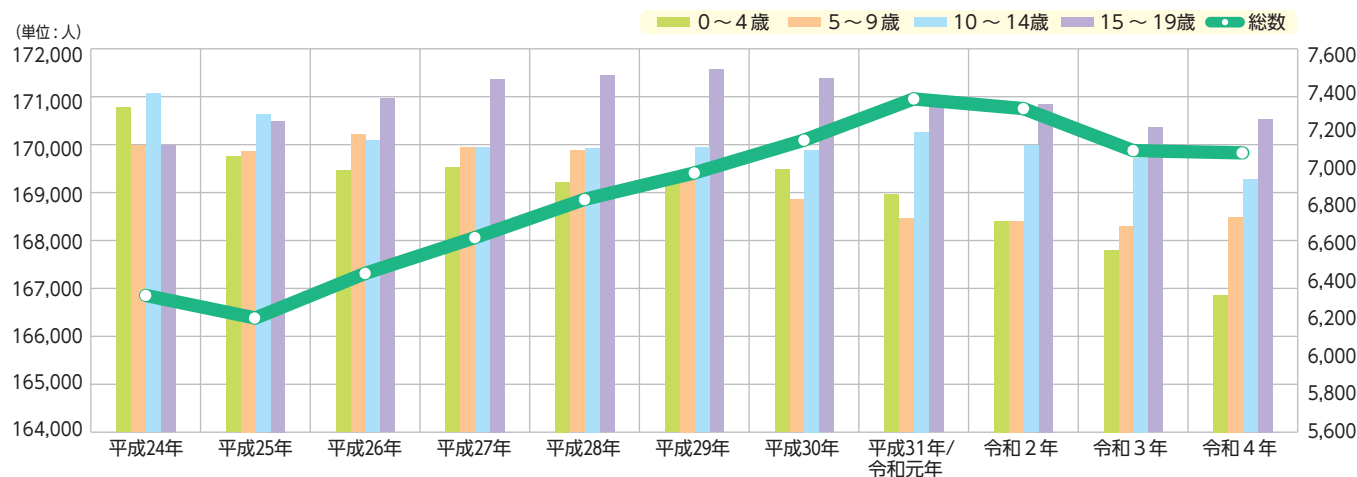
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度/令和元年度	令和2年度	令和3年度
胃がん	3,155	2,572	2,647	2,683	2,539	2,433	2,645	2,310	1,870	1,873
大腸がん	6,475	5,823	6,204	6,842	5,884	5,759	6,142	5,668	5,103	5,209
肺がん	2,846	4,009	4,439	4,598	4,607	4,525	4,768	4,482	4,066	4,249
子宮頸がん	4,461	3,995	4,930	3,848	3,574	3,604	3,975	4,000	4,097	4,374
乳がん(マンモグラフィ)	2,422	2,273	2,936	2,670	2,325	2,352	2,561	2,518	1,951	2,332

出典：令和5年「大阪市健康局資料」より



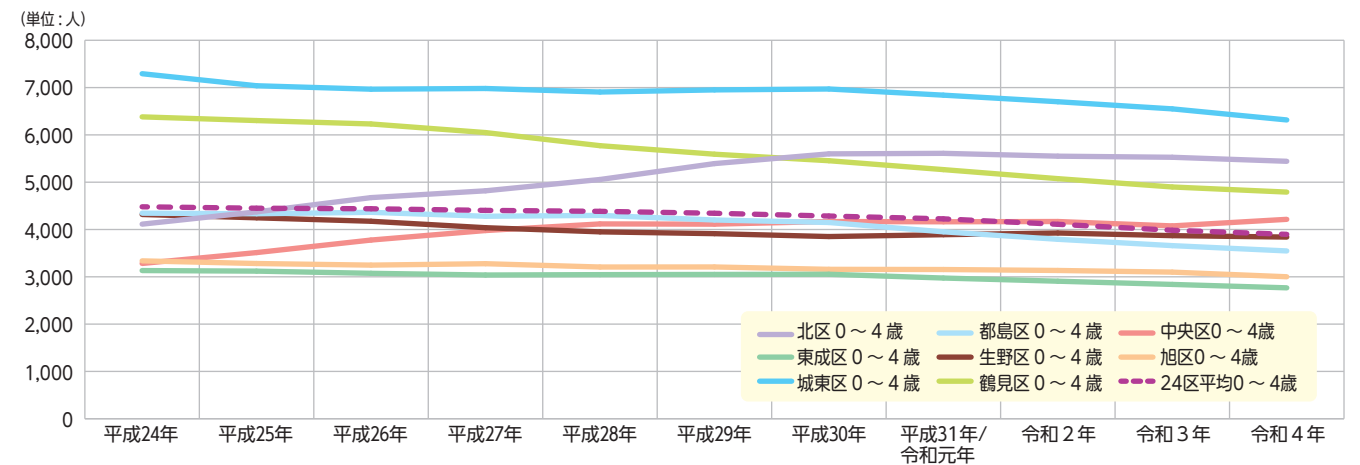
05 子育てしやすい城東区

●城東区 5歳年齢別人口比



出典：大阪市民局各年3月末現在の「行政区別・男女別・5歳階級別人口及び世帯数」令和4年のみ12月末の情報

●周辺区との比較



出典：大阪市民局各年3月末現在の「行政区別・男女別・5歳階級別人口及び世帯数」令和4年のみ12月末の情報

●区別0～4歳人口順 上位5区比

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年/令和元年度	令和2年	令和3年	令和4年
第1位	平野区	平野区	平野区	平野区	平野区	平野区	平野区	城東区	城東区	城東区	城東区
第2位	城東区	城東区	城東区	城東区	城東区	城東区	城東区	平野区	平野区	平野区	淀川区
第3位	東淀川区	東淀川区	淀川区	淀川区	淀川区	淀川区	淀川区	淀川区	淀川区	淀川区	平野区
第4位	淀川区	淀川区	東淀川区	東淀川区	東淀川区	東淀川区	東淀川区	住吉区	北区	北区	北区
第5位	鶴見区	鶴見区	鶴見区	鶴見区	住吉区	住吉区	住吉区	北区	住吉区	住吉区	住吉区

出典：大阪市民局各年3月末現在の「行政区別・男女別・5歳階級別人口及び世帯数」令和4年のみ12月末の情報

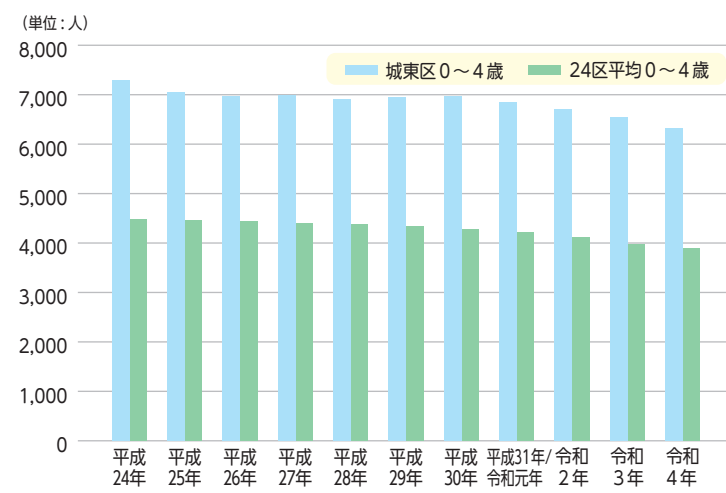
●城東区内子育て支援機関

	平成27年度	平成31年度/令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
民間保育所	19	24	24	24	24
公立保育所	3	3	3	3	3
認定こども園	3	4	4	4	6
小規模保育	4	8	10	10	10
保育施設計	29	39	41	41	43

	平成27年度	平成31年度/令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
私立幼稚園	6	6	6	6	6
市立幼稚園	2	2	2	2	2
つどいのひろば	3	5	5	5	6
子育て支援センター	2	2	2	2	2
子ども子育てプラザ	1	1	1	1	1
支援施設計	6	8	8	8	9

出典：城東区運営方針より抜粋

●城東区と24区平均との比較



出典：大阪市民局各年3月末現在の「行政区別・男女別・5歳階級別人口及び世帯数」令和4年のみ12月末の情報

城東区は未就園の児童数は減少をしていますが、大阪市の中で平成30年までは2番目に、平成31(令和元)年以降は1番児童数が多く、市平均の1.6倍で推移しています。

保育等施設は、10年間で29施設から43施設に増加し、平成31(令和元)年以降は保育施設・事業の待機児童数は0人の状態が続いています。また、地域の子育て支援施設である「つどいのひろば」も3か所から6か所に増え、親子の交流の場の提供や、子育て相談を行っています。